

## 2021 年度報告事項

### 第 1 号 令和 3 年度事業報告について

#### 1. 2021 年度優秀業績の表彰

2021 年度優秀業績については慎重に検討された結果、

岩田 敏 氏 (国立がん研究センター中央病院)

「Drastic reduction in pneumococcal meningitis in children owing to the introduction of pneumococcal conjugate vaccines: Longitudinal analysis from 2002 to 2016 in Japan」(Journal of Infection and Chemotherapy 2021 Vol. 27, No. 4 p604-612)

以上、1 件に二木賞が授与されることとなった。

坪井 基行 氏 (国立国際医療研究センター 国際医療協力局)

「Prevalence of syphilis among men who have sex with men: a global systematic review and meta-analysis from 2000-20」(Lancet Global Health 2021; Vol.9 e1110-e1118)

上記の研究業績に対して日本感染症学会北里柴三郎記念学術奨励賞が授与されることとなった。

#### 2. 講演会

令和 3 年 5 月 7 日～5 月 9 日、パシフィコ横浜 会議センターおよび WEB 配信において第 95 回学術講演会を藤田次郎会長のもとで開催した (第 69 回日本化学療法学会総会: 松本哲哉会長と合同開催)。

参加人数: 5,261 人

会長講演 2 題、特別講演 3 題、招請講演 5 題、教育講演 48 題、シンポジウム 22 題、日本環境感染学会合同シンポジウム 1 題、日本結核非結核性抗酸菌症学会協同シンポジウム 1 題、JaSA シンポジウム 1 題、緊急シンポジウム 1 題、Meet the Expert 14 題、若手向け講習会 13 題、Accepted paper セッション 1 題、男女共同参画推進委員会企画 1 題、第 3 回臨床研究促進助成中間報告 1 題、三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告 1 題、外来抗菌薬適正使用調査委員会 1 題、新薬シンポジウム 1 題、スポンサーシンポジウム 7 題、スポンサーセミナー 31 題、症例から学ぶ感染症セミナー 1 題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 1 題、ICD 講習会 1 題  
一般演題 455 題 (口演: 314 題、ポスター: 141 題)

#### 3. 雑誌刊行

##### 1) 感染症学雑誌

第 95 巻 1 号より逐次刊行した。

##### 2) Journal of Infection and Chemotherapy

Vol. 27, No. 1 より逐次刊行した。

インパクトファクター 2020 年度: 2.211

JIC Award 2021 (Vol. 27 p604-12)

Satoshi Iwata, *et al.*

Drastic reduction in pneumococcal meningitis in children owing to the introduction of pneumococcal conjugate vaccines: Longitudinal analysis from 2002 to 2016 in Japan

JIC Reviewer of the Year 2021

Dr. Yoshitomo Morinaga (University of Toyama)

#### 4. 地方会

・第 70 回東日本地方会学術集会は、令和 3 年 10 月 27 日～10 月 29 日の 3 日間、四柳宏会長のもとで第 68 回日本化学療法学会東日本支部総会 (長谷川直樹会長) と合同開催として東京ドームホテルおよび WEB 配信で行われた。

特別講演 2 題、教育講演 26 題、シンポジウム 24 題、ICD 講習会 1 題、症例から学ぶ感染症セミナー 1 題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 1 題、共催シンポジウム 2 題、教育セミナー 2 題

一般演題 150 題 (感染症: 110 題、化療: 40 題)

参加人数 1925 名

・第 64 回中日本地方会学術集会は村上啓雄会長のもとで、第 91 回西日本地方会学術集会は柳原克紀会長のもとで

令和 3 年 11 月 5 日～7 日の 3 日間、第 69 回日本化学療法学会西日本支部総会 (保富宗城会長) と合同開催で

長良川国際会議場・都ホテル岐阜長良川および WEB 配信で開催された。

会長講演 3 題、会長特別企画 1 題、特別講演 3 題、招請講演 2 題、教育講演 14 題、シンポジウム 5 題、日本感染症学会・日本救急医学会・日本集中医療学会ジョイントシンポジウム 1 題、日本環境感染学会合同シンポジウム 1 題、ヴェーブヘルスケア医学教育事業助成シンポジウム 1 題、パネルディスカッション 3 題、ワークショップ 2 題、感染症入門講座 18 題、委員会報告 1 題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 1 題、症例から学ぶ感染症セミナー 1 題、ICD

講習会 1 題、モーニングセミナー 4 題、ランチョンセミナー 14 題、スイーツセミナー 5 題、ニュードラッグセミナー 2 題、検査・診断セミナー 1 題、情報提供講演 1 題、中日本地方学術奨励賞選考セッション 11 題、研修医セッション 31 題 (中日本: 16 題、西日本: 15 題)、学生セッション 20 題 (中日本: 8 題、西日本: 2 題、化療: 10 題)

一般演題: 215 題 (中日本: 51 題、西日本: 100 題、化療: 64 題)

参加人数 1852 名

## 5. 感染症専門医審議委員会

### 1) 感染症専門医試験合格者 83名

(敬称略)

青木 孝弘	浅野 周一	阿部 靖矢	安藤 尚克	李 広烈	飯尾純一郎	石川 和宏	井手 聡
今村 圭文	岩坂 翔	上野 亨敏	内田 翔	太田 梓	太田 賢治	岡 圭輔	沖中 友秀
小倉 翔	小田川誠治	笠井悠里葉	加藤 敦	加藤 拓樹	金井 修	鎌田 啓佑	川筋 仁史
河野 圭	神田 直樹	菊池 航紀	北浦 慧	児玉 真衣	小西 啓司	小沼 貴晶	小林謙太郎
小林 智史	齋藤 充史	酒井 純	坂本 貴志	佐々木陽典	佐藤 依子	佐野 友哉	白川 典子
相馬 裕樹	高橋 芳徳	田上 陽一	竹澤 智湖	多田 勝重	多々良一彰	谷 直樹	中川 麗
中久保 祥	七尾 大観	西久保雅司	野村 俊仁	長谷川真也	畑 啓昭	花井 翔悟	濱田 博史
早野 聡史	廣田 和之	古橋 一樹	帆足 公佑	星山 隆行	堀内 弘司	増井 良則	町田 征己
松浦 良樹	松尾 裕央	丸木 孟知	三池 慧	水戸 陽貴	南 建輔	三村 一行	宮島真希子
宮嶋 友希	村上 宏	八木 秀介	矢野 勇大	山下 諒	山田 健太	山梨 啓友	山本 真也
山本 泰正	吉原 真吾	渡邊 剛史					

### 2) 更新者 235名

令和4年1月1日現在専門医数 1,700名

### 3) 指導医 66名

### 4) 感染症専門医認定研修施設 319施設 (ホームページ参照)

### 5) 新専門医制度への移行について

#### ・経過

- 2016/ 9/17 内科系サブスペシアルティ領域として専門医機構に承認される。
- 2019/ 3/22 厚生労働省医道審議会医師専門研修部会において、地域医療提供体制の影響等への観点からサブスペシアルティ領域の研修の見送りが決定となる
- 2020/ 3/ 5 サブスペシアルティ領域の在り方に関するワーキンググループの報告書において、感染症領域は基本領域との連動研修領域から、基本領域の研修修了後に行う通常研修領域に変更される。
- 2020/ 9/30 日本専門医機構よりサブスペ領域研修が2022/4/1開始であることが示される。
- 2020/11/30 感染症専門医に関するレビューシートを内科領域サブスペシアルティ協議会へ提出
- 2021/ 5/31 日本専門医機構より8月末までに新たな整備基準とカリキュラムの提出を依頼される。
- 2021/11/19 感染症を含めた通常研修領域および補完領域については、整備基準の再提出を求められる。
- 2022/ 1/11 研修の補完として e-learning システム導入を加えた整備基準を内科領域サブスペシアルティ連絡協議会へ提出
- 2022/ 2/22 通常研修領域および補完領域の整備基準は承認保留、制度開始は2023/4/1と1年延期となった。
- 2022/ 3/22 新専門医制度専攻医第1~3期生に関しては、まずは学会専門医となり、その後(翌年又は更新時)に機構専門医に移行する方針が日本専門医機構より示された。

## 6. インフルエンザ委員会

- 1) 提言「一般社団法人日本感染症学会提言 今冬のインフルエンザに備えて 治療編~前回の提言以降の新しいエビデンス~」を2021年12月2日にHPにて公開した。

## 7. 臨床研究促進委員会

### 1) 第5回日本感染症学会臨床研究促進助成(2022年度)

受賞者: 青木亜美氏(新潟大学大学院医歯学総合研究科医学教育センター)

研究課題: 抗I型IFN抗体に着目したCOVID-19診療ストラテジーの構築

### 2) シンポジウム開催

第95回日本感染症学会学術講演会

シンポジウム: あなたの日常診療を科学にしよう

Accepted Paper Session - 臨床研究の着想から論文アクセプトまで成功体験を共有する -

### 3) Institut Merieux Young Investigator Awards 2022(若手研究者賞)

受賞者: 浅井信博氏(愛知医科大学感染症科)

### 4) レジオネラ症サーベイランスWG

・レジオネラ症診断のための検査法の実施状況について日本呼吸器学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本救急医学会、日本臨床内科医会の協力のもとアンケート調査を行い、結果を Journal of Infection and Chemotherapy で発表した。(Kinjo T, Ito A, Ishii M, Komiya K, Yamasue M, Yamaguchi T, Imamura Y, Iwanaga N, Tateda K, Kawakami K: National survey of physicians in Japan regarding their use of diagnostic tests for legionellosis. J. Infect. Chemother. 2022 Feb; 28 (2) : 129-134. doi: 10.1016/j.jiac.2021.12.008.)

・レジオネラ症診断における尿中抗原検査と臨床的特徴に関する全国サーベイランス研究-多施設共同前向き観察研究-を開始した。

### 5) COVID-19重症化因子探索事業について、目標症例数に達し、解析を行っている。

## 8. 学際化国際化委員会

### 1) 学際化

・JaSAとして敗血症セミナーを4回(2021年5月29日、9月4日、12月12日、2022年1月23日)開催

### 2) 国際化

・第95回日本感染症学会学術講演会

招請講演1(ESCMID)、招請講演2(IDSA)

- ・19<sup>th</sup> International Congress on Infectious Diseases (19<sup>th</sup> ICID) においてシンポジウムを共催する (2022年11月17-20)。

9. ワクチン委員会

- 1) 「COVID-19 ワクチンに関する提言」について2021年7月27日に第3版、12月16日に第4版をHPに公開した。

10. 男女共同参画推進委員会

- 1) 第95回学術講演会にて、委員会企画「掴めチャンス、めざせプロフェッショナル」を行った。

11. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 関連

1) HP 公開資料 (\*は他団体合同・協力)

- ・ COVID-19 に対するシクレソニド投与の観察研究 (第2報) (2021.4.1)
- ・ 【中間報告】 ファビピラビル観察研究中間報告 (第3報) (2021.4.19)
- ・ ファビピラビル観察研究中間報告 (第4報) (2021.11.10)
- ・ 一般市民の皆様へ ～かかからないために、かかった時のために～ (2021.8.6) \*
- ・ COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第8版 (2021.8.6)
- ・ COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第9版 (2021.10.11)
- ・ COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第10版 (2021.11.4)
- ・ COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第10.1版 (2021.11.10)
- ・ COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第11版 (2021.12.24)
- ・ COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第12版 (2022.1.21)
- ・ COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第13版 (2022.2.10)
- ・ COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第13.1版 (2022.2.18)
- ・ COVID-19 回復者回復期血漿臨床治療方案 (試行第3版) および解説 (2021.11.19)
- ・ Significant Scientific Evidences about COVID-19 (古川俊治参議院議員) (最終更新2022年1月21日)

2) COVID-19 院内感染対策検討ワーキンググループ

- ・ 施設内感染についての追加アンケート調査を行い、「COVID-19 施設内感染アンケート調査を踏まえた施設内感染対策案—わかっていること、わかっていないこと—」を作成しHPに掲載した (アンケート実施期間:2021年2月25日~3月12日 回答者数:288名)。
- ・ 施設内感染についての第3回アンケート調査を行い、結果をHPに掲載した (アンケート実施期間:2021年7月20日~9月14日 回答者数:423名)。

3) 行政から出される通達「自治体・医療機関向けの情報一覧 (事務連絡等) (新型コロナウイルス感染症)」の中で、会員にとって重要な情報と思われるものを会員へメール配信した。

12. 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会

小児科領域感染症、尿道炎 (淋菌)、耳鼻咽喉科領域。

13. ICD 制度協議会

新規認定者 330名 有資格者数 3,460名 (当学会推薦)

※上記事業報告については、HPに掲載の議事録参照。

## 庶務報告

1. 会員数 正会員:10,943名 賛助会員:19件 令和4年2月28日現在  
除名については該当者無し
2. 第95回日本感染症学会総会は令和3年4月18日、有楽町朝日ホールにおいて行った。
3. 令和3年度評議員会は令和3年4月18日、有楽町朝日ホールにおいて行った。
4. 理事会は5回行った。
5. 感染症学雑誌編集委員会3回WEB会議を行った。  
Journal of Infection and Chemotherapy 編集委員会は1回WEB会議を行った。
6. 学会賞選考委員会は1回行った。
7. 専門医関連委員会は7回行った。
8. 学際化・国際化委員会は1回行った。
9. 男女共同参画推進委員会は1回WEB会議にて行った。
10. インフルエンザ委員会は3回WEB会議にて行った。
11. 臨床研究促進委員会は1回、COVID-19 臨床研究 ad hoc 委員会関連:15回、レジオネラ検討委員会関連:9回WEB会議を行った。
12. 中日本地方会・西日本地方会を2023年3月1日に統合し、静岡県を東日本の該当県とすることが理事会で決定された。